

テーマ：地域資源（ヒト・モノ・コト）の掘起こしと活用 対象：小学生～大人 主催： 広島市戸坂公民館

A-⑬ れいわのみんなプロジェクト part.1

子供の居場所 としての活用		住民相互の 学び合い・交流	○	関連施設・施策や 民間企業等の連携	○
------------------	--	------------------	---	----------------------	---

1 学習プログラムの展開（令和6年度）

日 程	場 所	学習・活動内容
4月～6月	戸坂公民館	○戸坂地域の歴史と民話の調査 ・歴史や郷土資料、地域住民から昔の暮らしや民話など聞き取り、劇にする民話を選定。
6月15日（土） 8月24日（土）	戸坂公民館	○演劇あそびの体験会・レクリエーション講座 ・子供たちが演劇を遊びながら体験したり親しんだりしながら交流する機会の提供。
9月～10月	戸坂公民館	○民話子供演劇の練習・リハーサル ・戸坂の民話について学び、紙芝居（地域住民制作）について聞き取り、演劇の練習を実施。
10月13日（日）	戸坂公民館	○「第45回戸坂公民館まつり」での発表 ・民話子供演劇を披露し、地域住民や来場者の方に、民話を通して戸坂地域を紹介。
11月10日（日）	戸坂公民館 桜御前神社	○振り返りの会・フィールドワーク ・民話の舞台となった場所に出向き、活動の振り返りを行いながら、地域への愛着心を醸成。



対 象	小学生～大人
経 費	70,110 円（広島県公民館連合会助成金・寄付金） （報償費 42,500 円、需用費 27,060 円、使用料及び賃借料 550 円）
連携先	広島市立戸坂・戸坂城山・東浄小学校、一般社団法人舞台芸術制作室無色透明

問
合
せ
先

広島市戸坂公民館
〒732-0016 広島市東区戸坂出江二丁目 10-26
電話：082-229-3110 メール：hesaka-k@cf.city.hiroshima.jp

2 学習目的

- 地域の子供たちが、地域に伝わる民話や歴史、言い伝え等を学ぶことで、地域への愛着心を育む。
- 地域に伝わる「戸坂の民話」を活用して、誰にでも分かりやすい「演劇」を上演することで、地域の歴史や魅力を発信する。

3 学習目標（学習目的の達成に向けて、付ける力）

- 演劇を上演することを通して、互いの意見を尊重しながら助け合うとともに、生涯を通して地域を大切にする機運を醸成する。
- 演劇を通して、子供たちと地域住民や関係者が関わりをもつことで、地域コミュニティを活性化し、共助のまちづくりに寄与する。

4 事前に必要な知識や準備物

- 事業の広報及び参加者募集に係る小学校との連携
- 演劇の指導や小道具等の制作支援に係る地域の企業や協力者等との連携
- 地域の民話収集や歴史学習について地域の有識者への協力依頼
- 歴史紙芝居（地域に伝わる民話）制作者への協力依頼
- 演劇の台本及び小道具等の検討、制作

5 留意点

- 事業の途中でも改善が図れるように、参加者や職員による振り返りを適宜行い、課題を把握する。
- より多くの参加者が集まるように、公民館だよりへの掲載やチラシの制作を行い、小学校や中学校に出向き、事業への協力について説明を行う。

6 成 果

- 異なる学校や学年の子供や地域の大人と交流しながら劇を制作したことで、コミュニケーション能力を培うことができた。
- 子供たちが地域の民話を知りながら劇を披露するという成功体験により、歴史や文化にふれながら、地域への愛着をさらに深めることができた。

7 課 題

- 参画者が限られる傾向にあったため、地域にある公立の小学校・中学校の他、県立特別支援学校にも可能な範囲で事業への協力や児童生徒の参加等の呼びかけを行う。
- 関係者（出演者や地域の協力者）の増加や演劇の小道具や衣装、講師への謝金、チラシ印刷の費用等、予算の運用を工夫する必要がある。

8 学びの成果を事業後に生かすための工夫

- 各回の前後の活動や取組がつながるように、参加者へのアンケートとともに振り返りの場を設定し、柔軟に事業の見直しや改善を行った。
- 事業の終了後には、「仲間と一緒に今後も活動を続けたい」という声が多く、次年度の活動に向けて、全職員で事業の内容や方向性を再度検討した。